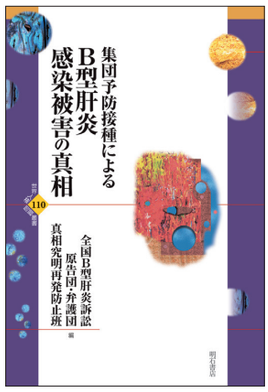
世界人権問題叢書 110

集団予防接種による B型肝炎感染被害の真相

全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団 真相究明再発防止班 ＝編
（編集代表：小宮和彦）



四六判／上製／472頁

2023年2月刊行予定　◉定価3,300円（本体3,000円＋税）

◆内容紹介

1989年（平成元年）、5人のB型肝炎患者・感染者が国を相手に損害賠償請求訴訟を提起し、2006年最高裁で全面勝訴の判決を勝ち取った。その後の2011年、原告・弁護団は国との間で基本合意を締結し、2013年には「検証会議」による提言がまとめられた。

本書ではさらに踏み込み、国や自治体、また医療従事者等の責任および問題の所在は一様ではないとの視点に基づき、10年ごとに年代を区切り各時代背景や社会情勢とともに医学知見の程度や感染事例等を検討したうえで、各年代における問題点を検証する。

「検証会議」の弁護士、原告を含むメンバーによる「真相究明再発防止班」が、検証会議の提言をはじめ膨大な資料を基に、B型肝炎感染被害の歴史と真相を解明した一冊。

◆内容構成

はじめに
序
【コラム：C型肝炎ウイルスとB型肝炎患者の不思議な縁】

第1部　歴史

【1940年代】
第1 時代背景／第2 予防接種法制定に至るまで／第3 1940年代の知見／第4 集団予防接種による感染拡大／第5 厚生省内の所管／第6 まとめ（問題点）

【1950年代】
第1 時代背景／第2 医学的知見／第3 予防接種の規範と接種現場の実態／第4 まとめ

【1960年代】
第1 時代背景／第2 B型肝炎に関する知見の集積／第3 肝炎の集団発生事例／第4 予防接種等の実態／第5 まとめ

【1970年代】
第1 時代背景／第2 B型肝炎に関する医学的知見／第3 予防接種等の実態／第4 集団予防接種等によるB型肝炎感染被害発生の把握及び対応／第5 まとめ

【1980年代】
第1 時代背景／第2 B型肝炎に関する医学的知見／第3 予防接種の実態／第4 医療現場等におけるB型肝炎感染被害とその対応／第5 まとめ

【B型肝炎訴訟（先行訴訟）提起に至る経緯及びその後の経過】

第2部　真相と教訓
第1 はじめに／第2 使い回しが続けられた歴史の振り返り／第3 なぜ注射針や注射筒の使い回しが続けられたのか／第4 どのような教訓が得られるか／第5 結語

第3部　検証会議
【検証会議について】
【スタートはB型肝炎感染拡大の被害実態の明確化】（田中義信）
【コラム：勇気をもって明るく生きること】
【検証会議委員による振り返り】
【検証会議バックアップ班員としての振り返り】

第4部　資料

ご注文方法は別紙をご覧ください

世界人権問題叢書 110
集団予防接種による
B型肝炎感染被害の真相
全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団 真相究明再発防止班 ＝編
（編集代表：小宮和彦）
◉定価3,300円（本体3,000円＋税）

明石書店
〒101-0021
東京都千代田区外神田6-9-5
TEL.03-5818-1171
FAX.03-5818-1174
URL=https://www.akashi.co.jp/
E-mail=eigyo@akashi.co.jp
■図書目録送呈